

KIKKA PLUS

[一覧に戻る](#)

冷間試験

ストーブが完全なOFF状態でなければいけません

SETボタンを『IP』と表示されるまで長押し、表示されたらボタンを離して下さい

マイナスボタンを押して『TS』を表示

SETボタンを押すとPASS:0が表示

プラスボタン押して13を入力

SETボタンを押してC0が表示

プラスボタンで各装置の動作へ移動

ESCボタンでエスケープ

C1 : RE	着火ヒーター	着火ヒーターON
C2 : EF	排気ファン	排気ファンON 40g/s以上であれば正常です。
C3 : LP	燃料搬送モーター	ペレット搬送スクリュモーターON Err. C11 = 低電流(安全装置の介入) Err. C22 = 正常 Err. C33 = 高電流(オーガロック)
C4 : Air Fan	温風ファン	温風ファンON(最大)
C5 : Air Can	温風ダクトファン	温風ダクトファンON(最大)
C6 : TC	排気温度センサー	現在の排気温度を表示
C7 : FL	給気センサー	給気センサーON
C8 : ST	室温センサー	現在の室温を表示
C9 : AU	AUXポート	接続されていれば『1』と表示され音が鳴ります。

パラメーター

SETボタンをIPと表示されるまで長押しして下さい。

マイナスボタンを『PA』を表示されるまで押す

SETボタンを押してPASS 0を表示させて下さい。

マイナスボタンで13を入力して下さい。

SETボタンを押して下さい。

パラメータ内はSETボタンを押すごとに移動します。

ESCボタンでメニューからエスケープできます。

パラメーター	値	単位	説明	備考
rP	--		コード11を入力でパラメーターを標準値にリセット	
id 1	old		メーカーが使用するための電子識別カード	
gi	--	g/s	現在の排気ファンの回転数を表示	排気ファンの回転数に異常があればアラームH2と表示
nnCo	0000	//	オーガモータの状態を表示	
t	-	° C	排気温度を表示	

FL	-	Volt	給気センサーを検出	
SF	10	Volt	給気センサー下限値	
Alno	no	//	(+)ボタンを押すことで今までに発生したアラームリストを表示	
CC	off	//	COMFORT CLIMAのON/OFF	室温に達した時に自動的に消火モードになり室温低下時に再着火します。
A1	25	g/s	排気ファン回転数(P1)	炎の立ちあがり無く色が赤黒ければ最大で4上げて下さい。炎の立上がりやすいくポット内でペレットが暴れようであれば最大で4下げて下さい。
A2	28	g/s	排気ファン回転数(火力2)	
A3	32	g/s	排気ファン回転数(火力3)	
AA	28	g/s	着火第1段階排気ファン回転数	着火までに時間がかかり煙が多い場合は数値を最大で2上げて下さい。
Ar	32	g/s	着火第2段階時排気ファン回転数	煙突が非常に高ければ最大で4下げて下さい。
AH	32	g/s	着火後燃焼安定段階時排気ファン回転数	
tp	8	sx10	ペレット初期投入量	
P1	17	%	ペレット投入割合(P1)	50%であれば5秒サイクルで2.5秒モーターが稼働
P2	33	%	ペレット投入割合(P2)	
P3	45	%	ペレット投入割合(P3)	
PA	15	%	着火第1段階ペレット供給割合	
Pr	20	%	着火第2段階ペレット供給割合	
PH	20	%	着火後燃焼安定段階時ペレット供給割合	ウォームアップ段階
At	ON	-	Auto reg のON/OFF	
tr	60	sec.	Auto reg 補正時間間隔	
L1	17	%	ペレット供給量下限値(P1)	
L2	29	%	ペレット供給量下限値(P2)	
L3	35	%	ペレット供給量下限値(P3)	
H1	21	%	ペレット供給量上限値(P1)	
H2	37	%	ペレット供給量上限値(P2)	
H3	54	%	ペレット供給量上限値(P3)	
T1	12	° C x 10	目標排気温度(P1)	
T2	18	° C x 10	目標排気温度(P2)	
T3	21	° C x 10	目標排気温度(P3)	
1P	45	Minuti	クリーニング時間間隔(P1)	
2P	30	Minuti	クリーニング時間間隔(P2)	
3P	15	Minuti	クリーニング時間間隔(P3)	
d1	10	Secondi	クリーニング時間(P1)	
d2	15	Secondi	クリーニング時間(P2)	
d3	15	Secondi	クリーニング時間(P3)	
F1	45	%	温風ファン (P1)	
F2	65	%	温風ファン (P2)	
F3	99	%	温風ファン (P3)	

FH	30	%	燃安定段階時温風ファン	
FF	60	%	消火段階時温風ファン	
C1	50	%	温風ダクトファン (P1)	
C2	70	%	温風ダクトファン (P2)	
C3	99	%	温風ダクトファン (P3)	
CH	30	%	燃安定段階時温風ダクトファン	
CO	65	%	消火段階時温風ダクトファン	
CF	ON	ON-OFF	温風ダクトファン機能のON/OFF	
LC	AO	...	温風ダクトファンの動作パターン	"FY"は設定すると常に最大で動作します。 "Ao"は火力に応じてファンの強さを変化させます。
AU	ST		AUXポートの管理	
dS	15	° C	最大第1段階から2段階目に切り替わる排気温度	
TA	9	° C x 10	運転段階(P1,2,3)に切り替わる排気温度	10分以内にこの温度に到達しなければアラームAF発生
TS	80	° C	失火したとみなす排気温度	運転中にこの温度を下回るとアラームSF発生
TF	30	° C x10	最高排気温度	この温度を超えるとアラームAL07発生
AJ	10	° C	排気温度センサーの更生	点火失敗の問題を出さないために+ 30 まで上げることが出来ます。もしこのパラメーターが0ならディスプレイに表示される温度が実際の排気温度です。 このパラメーターを変更することで実際の排気温度より より高く、またはより低く制御盤に読ませる目的があります。
J	0	° C	室温センサーの更生	部屋により精密な温度計があるとすれば、その温度計にストーブの室温度表示が一致するように変更が可能です。
AP	6	x 10s	ペレット投下割合	
Acc		N°	着火回数	
H P1		h	火力1での稼働時間	
H P2		h	火力2での稼働時間	
H P3		h	火力3での稼働時間	
CL		N°	運転状況メモリーをコード31を入力してリセット	
IR	OFF	//	リモートコントロールのON/OFF	
gb	dg	//	Gestione Black OUT: dr = immediato, dg = c/analisi g/" estrattore fumi, d= dipendente dalla temperatura termocoppia.	
TH	2	Minuti	パラメーターAH、PHの持続時間	
c	40	Enumerico	燃料搬送オーガモーター電流下限値	
C	200	Enumerico	燃料搬送オーガモーター電流上限値	
EC	30	N°	電流イベント数制限値	
Br	13	Enumerico	燃料搬送オーガモーターブレーキ数値	
Eq	8	secondi	この時間以上の揺れを感知した場合にアラームEqが発生	耐震のアラームが発生した場合、通常の消化段階を継続し、消火します